

コロナ禍で災害避難と防災準備を考える！



今年は多人数集まったの防災訓練は出来ません

今年は、新型コロナ感染と自然災害が同時・複合的に発生したときの防災対応を考えて見たいと思います。町内会員の皆様の行動計画として、参考にさせていただければ幸いです(広報さつぽろ9月号も参考に)。また、行政の防災計画は三密回避のために、避難所の開設数を増やすことが予想されます。東会館は北郷小学校や地区センターと協力して、避難所対応を想定した準備を進めていきます。

コロナ感染防止の対策は、どこでも ①マスク②手洗い③三密回避。

町内の災害避難時に於いて、高齢者の感染リスクは最優先に考えなければなりません。災害弱者は同時にコロナの高リスク者です。どのような場所でも、
①マスク②手洗い励行③三密回避の行動は必須です。マスクを始め、ハンドソープや消毒液、体温計など手元に常備して置きましょう。

「接触アプリの活用・普及にも協力を」
スマホをお持ちの方は、QRコード接触アプリ(155号に詳細掲載)の参加をお願いします。COCOAアプリの導入もお願いします。

命を守る行動は臨機応変の「分散避難」

今年も大雨・洪水による災害が多発しています。新型コロナ感染防止の観点から、避難対応も変化してきました。その典型例が「分散型避難」の徹底です。①感染リスクの高い人は友人・知人宅を予めお願いする。②二階建て以上の「自宅避難」、「車中泊避難」もあります。③三密回避のため、緊急指定避難所(北郷小学校)の定員を削減し、地域避難所を多く開設する方向性も示されています。④コロナの感染者は避難所に滞在出来ません。必ず保健所の指示を受けましょう。「避難指示が出れば、いつもの避難所へ」とはいかないのが今年の災害避難です。

避難所・避難行動の必需品一覧

- ・感染症追加備品：マスク、消毒液、ハンドソープ、体温計、スリッパ
- ・衛生用品(お薬)：タオル、ゴミ袋、小袋、ティッシュ、ハブラシ、おむつ
- ・飲食品：飲料水・お菓子類、缶詰
- ・衣類(寝具)、防寒具、替え着
- ・その他、LED懐中電灯、ランタン、乾電池、携帯充電器、ラジオ

要援護者と援護者の絆は、命の絆です。

避難行動を速やかに進める時、他者の介助を必要とする方がおられます。身体障がい者、認知症、高齢者など、毎年「要援護者」を確認したいものです。町内会としては、福祉見守り対象者をベースに、区ごとに対象者のリスト化することを推奨します。なお、プ

避難所を安心利用するポイント

指定緊急(基幹)避難場所は北郷小学校体育館です

震度6弱以上の地震や避難指示が出されると最初に開設される避難所が小学校の体育館です。水や食品、寝袋や毛布など備蓄品が一通り揃っています。停電対応も強化されました。地域避難所である「北白石地区センター」と「北郷東会館」は、北郷小学校だけでは対応出来ない時に、白石区の要請を受けて開設されます。なお施設ごとの備蓄状況は裏面を参照。

避難所生活はルール守り協力して共同生活を

避難所はホテルや旅館ではありません。コロナの感染防止のためにも、トイレ掃除やゴミ片付けなど進んで役割分担を引き受けましょう。受付時の発熱確認や外出・退社の届け出管理も大切です。長期化する場合は、避難者による「運営委員会」も設置されますので、協力体制が必須です。

避難時の必需品は、日頃から手元において準備しましょう。

ペットの同伴避難は、北郷小学校で二年前対応しました。貯水槽の給水は、水道局の職員が対応しました。

防災組織図と防災マップは毎年更新し確認を

広域地震災害では、まず命を守ることが最優先です。倒壊家屋の下敷きや火災から隣人の命を救うことが出来るのは地域住民です。最悪を想定した役割分担や機器の訓練は重要です。区単位でも毎年確認することが大切です。

災害時 要援助の申請書

区 区長 殿 申請日 令和2年 月 申請者世帯主名: _____

要援助者名	生年月日	性別	男	女
要援助内容 (該当に○印)	イ) 付き添いが一人いれば、自立歩行が可能 ロ) 車イスが複数人数の介添えが必要 ハ) その他()			
備考欄 (その他必要な情報があれば記入)				

見本は、20区の「要援護者」申請カード



要支援者	看護師	井戸水	災害時井戸水
協力賛助会員	重機操作	消火栓	消火器
ソーラーパネル	発電機	業務用消火器	